

---

# 流星のロックマンmini

メール

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

流星のロックマンmini

### 【Nコード】

N9121P

### 【作者名】

メイル

### 【あらすじ】

いつもどおり展望台に星を眺めに言ったスバルとウォーロック。そこでスバルは流れ星を発見する。始めは遠くにあった流れ星だったが、徐々にスバルたちに近づいてきて、スバルに激突してしまっ  
た！！

## 第1話 はじまり（前書き）

この小説は一種のパラレルワールドです。気楽にごゆるりにご覧  
てください

## 第1話 はじまり

ここはコダマタウン展望台 1人の少年が星を眺めている

この少年の名は星河スバル。コダマ小学校5年生だ。昔はある理由があり不登校だったがそこはまた今度…。

スバル「今日も星がきれいだねウォーロック…」

するとスバルの左腕から声がした。正確に言うと左腕にはめられているトランサーから声は発せられている

そこには青い体をしている変なものがいた。

????「変なもので悪かったな！」

失礼しました…。

彼はウォーロック。宇宙にあるFMプラネットからはるばる地球までやってきた。アンドロメダという鍵を盗みFMプラネットでは重罪人とされている。スバルとウォーロックが出会ったのもFM星人（FM星の住人のこと）に追われているときだった。

ウォーロック「それでいいんだよ」

スバル「ええつと、ウォーロック僕の話聞いてた？」

ウォーロック「聞いてネエよ。怒るなら変なナレーションした作者に怒れ」



## 第1話 はじまり（後書き）

変なところで切りました。続きが気になる方はレッツラゴー

第2話 ちっちゃくなっちゃった！(前書き)

スバルは無事なはず…

## 第2話 ちっちゃくなっちゃった！

……

う、うづるん……

スバル「あれ、僕いつの間に……！」

スバルは異変に気づいた。立ち上がったときにあまりにも視線が低かったからである。

スバル「ねえウォーロック。ちょっと出てきて」

スバルはそう言うとビジライザー（スバルのメガネ。電波体を見ることができ）をかけた

スバル「おわっ！ウ、ウォーロックが……」

スバルはおもわずしりもちをついてしまった。同じくらいの高さのウォーロックの半分くらいしか見えないのだ。

スバル「何でそんなに大きくなったの！？」

ウォーロック「オレがでかくなったんじゃネエ！お前が縮んでんだよ！」

……！確かに自分の目線が低いのもうなづけるが、それでもどうしてなのかが分からなかった



スバル「と、とにかく天地（アマケンという施設の官庁的な人）さんに会いに行こう！何か分かるかもしれないし！」

ウォーロック「別にかまわねえけどよ…そんなんで行けるのか？」

ウォーロックに言われるまで気づかなかったが服がぶかぶかになっていた

ウォーロック「それによ、お前今の姿はどう見たって小学校2年生くらいにしか見えねえからなあ。補導ってやつにあっちまうんじやねえのか？」

それもそうだったと今頃スバルは気づく

スバル「あ、じゃあ電波変換（スバルとウォーロックが合体して電波化した姿）して家に帰って母さんに説明しよう」

ウォーロック「（信じてくれるかねえ）ああ、じゃあ準備はいいかスバル」

スバル「うん。電波変換！星河スバルオン・エア！」

スバルとウォーロックが合体してロックマンになった

スバル「ううくん。やっぱり体が小さいって変な感じ」

ウォーロック「つべこべ言わずにとっとと帰るぞ！慣れねえ体でウイルスと戦うのはきついかも知れねえからな」

スバル「うん」

そしてロッキーマンは空の道を使い家路についた

第2話 ちっちゃくなっちゃった！（後書き）

いかがだったでしょうか。そのうち投稿しようと思いましたがまた  
今度（ ）（ ）／感想ください（ ）――（ ）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9121p/>

---

流星のロックマンmini

2011年1月9日02時12分発行